

1 本時のねらい

「北方領土問題」を3つのエキスパートを通して様々な視点から考え、意見を出し合い、話し合い活動から領土問題についての認識を深め、どうすれば「北方領土問題」が解決するか、根拠を持って表現させる。

2めあて、まとめ、振り返り

(まとめ) 「北方領土」が我が国固有の領土であり、また歴史的事実においても正当な主張である。

(めあて) 学習課題
「北方問題とは何だろうか?」「北方領土は誰のもの?」領土について様々な視点から考えてみよう。



(振り返り)

「北方領土問題」について学習を行う前と、学習した後での自分の考えの変化をまとめる。

3 本時の展開

	学習活動(○発問 / ・予想される生徒の反応)	指導上の留意点
導入 (5分)	「北方問題」について考えよう ○「日本の最南端の中学校は?」では「最北端の中学校」「最東端の中学校」は? 「北方領土問題とはなんだろうか?」	パワーポイントで本時の授業の流れを説明する。
展開 (35分)	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">エキスパート活動</div> A:【北方領土とは】 B:【日本の主張】 C:【ロシアの主張】 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">ジグソー活動</div> 「北方領土は誰のもの?」・本当に日本のものなのか、その根拠は何か。・ロシアの主張に対しての吟味をする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">クロストーク活動</div> ・発展課題 日本は今後どのようにロシアと向き合うべきか 各班の意見をホワイトボードを使って発表する。	様々な視点から考えさせるため、役割を分担して考えさせる。 ・感情論に走らず建設的な意見がでるよう雰囲気をつくる。
まとめ (10分)	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">今日の振り返り</div> ワークシートを配布し、北方領土が日本固有の領土であるにもかかわらず、ロシアに不法占拠されている現状から私たちは、どうあるべきかを自分の考えをまとめる。	・激変する政界情勢の中で領土問題について自分事として捉えたい。

4 板書レイアウト等

「北方問題について考える」
めあて 「北方領土は誰のもの?」様々な視点から考える。
エキスパート活動
北方領土とは【日本の主張】
【ロシアの主張】

・ジグソー活動
北方領土は誰のもの?

クロストーク
・日本はロシアとどう向き合うか

各班の意見

まとめ・北方領土は、わが国固有の領土であり日本の主張は、歴史的においても正当な主張である。

【評価基準】・北方領土の様々な資料から、課題を追求し領土問題について理解している。(知識・技能)

・北方領土問題について、話し合いを通して自分の意見を根拠も持って説明している。(思考・判断・表現)